



祐介の目

大田ゆうすけ

(福山市議会議員)

No.53

毎月1日号に掲載

は明白だ。地方議員レベルなら金銭的に苦しくても自分のポリシーを貫ける「無所属」で選挙を戦い、当選後に会派を組めば良い。

選挙とお金の話

選挙に出るにはお金がかか
る。事務所を用意して、スタッ
フを揃え、チラシを印刷して郵
送したり、支援のお願いの電話
や看板を作ったり車を走らせ
たり……。では幾らかかるの
か、これは得票数にある程度比
例する。多数の票の獲得を目指
すほど、用意するモノの規模が
大きくなるからだ。例えば3千
票で当選する市議会議員なら
3〜5百万円だろう。1万票の
県議会議員なら1千万円、5万
〜10万票の市長や国会議員な
ら3千万円程度だろう。

金融機関は選挙費用を貸し
てくれないので、費用を自分で
用意するかスポンサーを見つ
けないと選挙には出られない。
または団体・企業や政党など
の組織に属し、組織から事務所
やスタッフを提供してもらえ
ば負担は軽くなる。しかし、ス
ポンサーや組織に頼った選挙
は、当選後のしがらみを生むの

最近議員報酬で生活す
る所謂「専業議員」の割合が
増え、選挙が就職活動では
ないかとの批判が多い。ヨーロ
ッパの議員はボランティアで
はないかという批判に対して
は、仕事量も比較して判断しな
ければフェアでない。日本の地
方議会議員の方が議案審査の
量かけた違いに多いが、問題は
きちんと審査しているか否か
である。名古屋市議会は報酬を
半減したが、当選した議員の質
は著しく低下した。ただ、専業
議員がまちの経済事情等に疎
くなるのも事実であり、議員報
酬に頼らず議員活動を行う基
盤を持つ努力も必要ではない
か。さらに報酬削減は選挙費用
の削減策とセットであるべき
と考える。

最後に選挙そのものにも多
額の税金が投入されている。こ
れは選挙区の大きさに比例す
るが、福山市なら約1億円かか
る。これを有権者数で割ると一
票の価値は約300円となる。投
票に行かない人はこれをドブ
に捨てているわけだ。ぜひ投票
行なって税金の無駄遣いを減
らしてほしい。